

特集

チーム韮崎まちづくりミーティング 「若者の選挙参加とまちづくり」



平成 28 年 6 月から選挙権年齢が 18 歳に引き下げられて 3 年が経とうとしています。今年度は 4 月に行われた山梨県議会議員一般選挙に続き、参議院議員通常選挙、韮崎市議会議員一般選挙が予定されています。そうした中、若者の選挙参加については様々なところで話題となり、全国各地で若者の選挙参加を啓発するための取り組みが行われています。そこで、韮崎市選挙管理委員会の皆さんにもご参加いただき、これから選挙権を得る高校生や 18 歳から選挙を経験したことのある皆さんと一緒に、選挙に参加しやすい環境づくりについて考えてみました。また、選挙がまちづくりの一端を担っていることを踏まえて、自分たちの住むまちに望むことなどもお話していただきました。



選挙への参加について、誕生日の関係で 3 年生のうちに選挙に参加することができなかったのですが、周りの友だちが「選挙に行った、行かなかった」という話を聞いていたなかで、今の段階だと自分の意見に自信がなくて選挙に行くかどうか様子を見てしまおうと思います。

若者にも興味をもってもらうためには、今は情報を得る手段が紙ではなくスマートフォンなどが中心となっていると思うので、そういったもので情報を得る手段が充実したらいんじゃないかと思えます。

こういった機会もそうですが、利用しているお店や市長を身近に感じられるこの距離感の近さが韮崎市の魅力なので、もっと広がってくれたらいいなと思います。



望月 凜香さん
(龍岡町)

選挙に行くか行かないかは、まだよくわかっていないので、正直様子を見てしまおうと思います。

ただ、経験者の方の声を聞いてみて少し行った方がいいのかなという気持ちは湧いてきました。

工藤 聖矢さん
(藤井町)



授業とかでも学ぶのですが、教えてもらうだけでは分からないことも多く、選挙はやっぱり難しいなというイメージです。

まだ選挙権がないため、正直、選挙公約を見たことがないですが、直接立候補者からアプローチしてもらった方が興味を持てると思います。例えば学校に来てくれるとか。もっと近くに感じることでよかったらいいなと思います。

相馬 花音さん
(藤井町)



樋口 壮さん
(大草町)

選挙のイメージは、重苦しいものだと思います。硬い感じですね。
まちにあるといいものについて、自分は野球をやっていますが、公式試合ができるような野球場といえば甲府市や富士河口湖町にしかないのが公式試合のできる球場がまちとして整備されたらうれしいと思います。



また、自分の夢はゲームクリエイターになることなのですが、市内にそういう会社がないので設立されるといいなと思います。

青柳 明華梨さん
(神山町)

選挙には、親が行くなら行こうと思います。自分一人だけだと少し行きづらいいと思います。

児童会・生徒会選挙に自分が立候補して思ったことは、責任感が必要な仕事だと思うので、選ぶ側にも同様に責任があると思います。小さな一票かもしれないですが、それで何かが動いてしまうと思うと重いと感じてしまいます。



吉井 海斗さん
(旭町)

高校3年生の時に初めて行った選挙は、期日前に投票をしたのですが、一人で行った市役所の期日前投票所は静かで重い空気ですごく緊張してしまいました。それに投票所に入ったときの視線が気になりますよね。場所も市役所や公民館だけでなく、二コリと

かでもやれるようになると思います。二コリでやるなら自分が行きます。

誰に投票すればいいのかわからないけれど投票には行かなければならない、投票率を下げてはいけないという思いから、経験した2回の選挙ではなかなか選ぶことができませんでした。親から意見も聞き取りましたが、自分の意思で決めるべきだと思っています。投票に行くことには意味があると思っています。

学校での役員決めとかは、人気投票で形式的になりがちですが、学校ではやり方をしっかり考えて実施してほしいと思います。

葦崎市は医療費が無料だったり、子育て政策が充実している、市民の意思として子どもにお金をかけようという意思があつて、それが選挙で反映されているのかなと思っています。



葦崎市長 内藤 久夫



私は20歳の時に初めて投票をして、これまでほとんどの選挙に投票してきました。でも、最初の頃は誰に投票していいかわからなかったですね。私も昔、吉井さんと同じように悩んで投票に臨んだことがあります。この人だと決められなかったけれど投票率は下げられないと思いました。選ぶことは難しいかもしれませんが、吉井さんの言うようにまず選挙に行くことが大事ですよ。

世の中にはいろいろな選挙があるけれど、身近なところの選挙から興味を持ってもらえるといいと思います。

こういう施設や制度があったらいいとか要望を出してみますよね。こういう風になって欲しいという思いを実際に実行してくれる人を選ぶのが選挙ですよ。

ま と め に

この日、参加者の皆さんから「会場が重苦しい雰囲気緊張する」という意見が多数挙げられたことから、内藤市長を中心にその場で当日参加された葦崎市選挙管理委員会の皆さんにお願いをして、検討いただいた結果、投票所の硬い雰囲気を解消するために投票所でBGMを流す取り組みを実施することが決定しました。実際、3月30日～4月6日に行われた山梨県議会議員一般選挙の期日前投票所（葦崎市役所）で音楽を流しました。

今回参加してくださった皆さんをはじめ、若者の皆さんに選挙やまちづくりに少しでも興味を持っていただき、皆さんの未来を担うその一票を大切にさせていただけたら幸いです。